

アジア太平洋地域の発展と科学技術 台湾シンポジウム-1992.09.02

台湾シンポジウム

アジア太平洋地域の発展と科学技術
—21世紀への課題—
講演録

平成4年9月2日～3日



共催 財団法人 本田財団
亞太科学技術協会

閉会の言葉

東京外国語大学教授 中 嶋 嶺 雄

最後に中嶋先生より日本側の全体の結論と提案をしていただきたいと思います。

余傳韜理事長、川島廣守理事長、ならびにご婦人の皆様、また諸先生方、私は日本側を代表いたしまして、この閉幕式で結論ならびに提案について提出することができますことを、大変光榮に存じます。アジア・太平洋地域の発展と科学技術シンポジウムは、皆様方の大々的なご協力、とりわけアジア・太平洋科学技術協会、三陽工業公司、また本田財団のお世話をいただきまして、大変すばらしい成功をおさめました。私はここに心から感謝の意を表します。

20世紀の最後の時期になりましたが、この時、世界における国際関係の枠組みはまさに大きな変化を遂げつつあります。ソ連が急激な解体を遂げたことは、歴史の変動の歯車が大きな轟音を立てて動いていることを示していると思います。国際社会はまさに冷戦構造ならびに共産主義という二つの基軸から脱却し、歴史的な大きな変化を遂げつつあります。このような発展に対し、私どもがどうしても指摘しなければならないのは、日本および貴国を代表とするアジアのNIES諸国が活力に富んだ見事な成果を上げ、そしてこのような発展のために大変大きな積極的な役割を果たされたことです。アジア・太平洋地域の新しい発展は、全世界に大きな影響をもたらしています。ただ私個人は、こうしたなかでの最大の懸念は中華人民共和国の最近の軍事化と軍拡の問題だと思っておりますが、全般的な国際緊張の緩和は、アジア・太平洋地域の内部に多角的な変化をもたらしました。現在アジア・太平洋地域において、かつて国際関係のテキストの中にはなかったような、一つの新しい国際関係がまさに形成されつつあります。

このような時にアジア・太平洋地域のNIES諸国の中において、最も順調な発展を遂げているのは台湾であり、それは世界経済に対して大きな影響をもたらし、日増しにその影響力は増大しています。昨年1年の台湾の貿易総額はすでに1400億ドルを超過しています。これは、経済大国を標榜している日本の4分の1以上になっています。またこのシンポジウムの中でも話されたように、台湾の外貨の保有高はすでに世界のトップを占めています。そして学識の大変豊富な、また洞察力に富んだ立派な政治家である李登輝総統の導きのもとに、台湾はまさに新しい飛躍を実現しようとしています。このような新生台湾は大陸中国との関係においても、また国内における政治改革、とりわけ民主化の面においても、着実な進展を遂げています。

今日アメリカを先頭とする西欧諸国、また旧ソ連、あるいは東欧諸国、および中国大陸においても、またモンゴル、北朝鮮等の国々でも、いずれも台湾の成功

に対し、また台湾の経験に対して大変高い評価を与えております。それと同時に台湾の政治的發展は、極めて顕著であります。目下多党制の実現、また選挙制度の改革など一連の憲政改革が進められています。これだけではなく台湾の政治改革はさらに一歩發展をとげるでしょう。このような進展の過程を経て、台湾と中国大陸の関係はまた新たな交流の段階へと突入するでしょう。台湾海峡兩岸の情勢は大いに緩和しています。大陸沿岸の各省に対する台湾の経済的、社会的な影響力は日増しに増大しています。

諸先生方、私は科学技術の方面の専門家ではありませんが、世界においては科学技術が社会の發展を促す原動力であると思います。とりわけ科学技術と文化、また環境保全、および保健などの関係が、社会の發展を促すという考え方はすでに普遍的な見方になっています。このたびのシンポジウムは2日間の大変熱心なディスカッションを経て、私たちは一つの結論を得ました。つまりわれわれ二つの国家が手を取り合って、21世紀を目指して理想的なアジア・太平洋地域の新秩序を打ち立てるために、苦樂を共にし、また協力して問題を解決していくコンセンサスを打ち立てていかなければなりません。

もしも貴国のアジア・太平洋科学技術協会と私ども日本の本田財団が、今後引き続きこのようなチャンスを提供してくださることができれば、私は大変光榮に存じます。私はまたこの点での中国側の皆様方のご協力を仰ぎたいと思います。

最後に日本側を代表して、中国側の代表のいろいろなおもてなしに対し、心より感謝の意を表します。諸先生方どうもありがとうございました。

これでシンポジウムのスケジュールはすべて終わりました。皆様方どうもありがとうございました。

(以上の閉幕スピーチは、中国語で行われたものの和訳です。)

目 次

講演録	
21世紀のエネルギー問題	近藤次郎 …… 1 (日本学術会議会長)
日本における科学技術研究の動向	渥美和彦 …… 4 (東京大学名誉教授)
日本の科学技術政策と課題	川崎雅弘 …… 18 (新技術事業団・専務理事)
日本社会の技術革新の担い手—中堅企業	中村秀一郎 …… 33 (多摩大学経営情報学部長)
21世紀への材料革命	内田裕久 …… 42 (東海大学教授)
21世紀の情報科学技術と文化	西垣 通 …… 57 (明治大学教授)
デモグラフに現れた近代過程 —人口高齢化と就労パターンを解析する—	古川俊之 …… 62 (国立大阪病院院長)
留学生交流についての一つの試み —東京大学大学院土木工学専攻の例—	西野文雄 …… 76 (東京大学教授)
冷戦後のアジア太平洋情勢	山室英男 …… 94 (評論家)
21世紀に向けてのアジア太平洋経済の展望	下村恭民 …… 99 (埼玉大学教授)
閉会の言葉	中嶋嶺雄 ……107 (東京外国語大学教授)

閉 幕 辭

中嶋嶺雄

余傅韜理事長、川島廣守理事長、各位女士、各位先生：

我在這裡代表日方，提出閉幕式的結論與提案，覺得非常的榮幸。

亞太地域性發展與科學技術發表會，承蒙各位大力的協助，尤其是亞太科學技術協會，三陽工業公司以及本田財團的支援，在這裡獲得了很圓滿而成功的結果，由衷向各位表示感謝之意。

20世紀也已近尾聲了，就在這個時候，世界的國際關係，在結構上逐漸完成很大的變化。蘇聯的急速的解體，正表示著歷史的齡輪，發出隆隆之聲在變動著。國際社會正從冷戰構造及共產主義這兩個基軸脫離而帶來歷史上的大變化。對於這種發展。我們不得不在這裡提出來的，就是日本及貴國所代表的亞洲NIES各國的充滿活力的努力成果。以及爲了這種發展而積極所盡的任務。亞太地區的新發展，對於全世界帶來了莫大的影響。在這種情勢當中，我個人最擔心的，就是中華人民共和國之最近的軍事化與擴大軍備等問題，就整體而言，國際緊張情勢之緩和，使亞太地域內部帶來了多方面的變化。現在在亞太地域，正在形成著以往在國際關係的教科書中從來也沒有過的一種新的國際關係。

在這樣的情況之中，在亞太地域的NIES諸國裡面，台灣完成了最順利的發展，這就世界經濟帶來了很大的影響力，而且這種影響力也正在日益增加之中。去年1年的台灣的貿易總額已經超過了1400億美元。這個金額已經達到號稱經濟大國之日本的四分之一。在研討會中亦曾提到過，台灣的外匯存底已經佔世界的第一位。而且，在學識非常豐富，洞察力敏銳的政治家李登輝總統領導之下，台灣正要實現另一個新的飛躍。這種新生的台灣，無論是與中國大陸之間的關係，或在國內之政治改革，特別是在民主化的方面已有著實的發展。

現在無論以美國爲首的西歐各國也好，蘇聯也好，以及東歐諸國乃至中國大陸、蒙古、北韓等國家，都對台灣的成功及台灣的經驗給予很高的評價，同時，台灣的政治改革也極爲顯著。目前，除了已實現多黨制之外，選舉制度之改革等，一連串的憲政改革也正在推行當中。不止於此，台灣的政治改革將會達成更進一步的發展。經過這種進展的過程。台灣與中國大陸的關係一定會進入一個新的交流階段。台灣海峽兩岸的情勢已經大爲緩和了。台灣對大陸海岸的各省的經濟的與社會的影響力日益增加之中。

諸位先進，我並不是科學技術這一方面的專家，但是我認爲科學技術是促進社會發展的原動力，特別是科學技術與文化或與環保、保健等之關係會促使社會發展的想法已經很普遍。這一次研討會，經過兩天的熱烈的討論，我得到了一個結論，那就是，我們兩個國家攜手合作，爲了邁向21世紀，建立理想的亞太地域之新秩序，就必須建立同甘共苦，共同解決問題的新觀念。

假如貴國的亞太科學技術協會與我們日本的本田財團，今後能夠繼續提供這種機會，我們一定會很感謝，這一點，我很誠懇的希望中國的貴方能夠多多的協助。

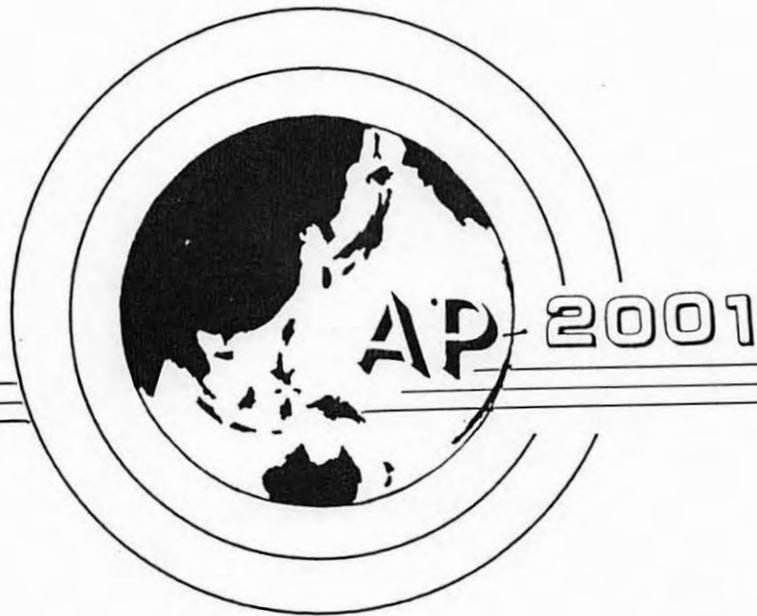
最後，謹代表日方代表團感謝貴方各位代表們的熱忱的款待，謝謝諸位先生。

最後再謝謝各位的合作，這一次的研討會就到此結束。謝謝各位。

亞太地域性發展與科學技術研討會

邁向 21 世紀

論文集



1992. 09. 02 - 09. 03.

亞太科學技術協會
三陽工業股份有限公司
日本 本田財團